

2022 年秋学期/ノーステキサス大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

communication と writing の2つの授業があり、各授業100分でした。communication の授業ではリーディング、リスニングの練習や各学期で2回ほどのスピーキングテストがありました。writing の授業では文法やエッセイの書き方を学びました。ほぼ毎時間ディスカッションがありました。

1日に三コマ開講されていてうち二コマの授業を受けます。一回100分の授業で一限が8:20スタートで三限が14:30もしくは14:50に終わります。対面です。

コミュニケーションの授業は机が3、4人のグループ席になっていて、ペアやグループワークが多かった。スマホアプリを使ったゲームで、単語を覚えた。ライティングのクラスは、文法やエッセイの説明があった後に、ペアで演習問題に取り組んだ。グラマーは、スマホアプリを使って練習することもあった。

基本英語しか喋ってはいけない環境で内容は簡単ですがそれを全て英語で説明されるので難しく感じた。文法とコミュニケーションのクラスがあって先生により進め方に差があるが、宿題の答え合わせや確認をしてから新しいことをしてその復習が宿題になる場合が多い。

毎日コミュニケーションの授業とライティングの授業が二コマあり、毎日の宿題の確認をした後に新しいトピックについて考えたり、新しい文法を習っていました。また毎日の課題の量がとても多く毎日夜遅くまで図書館にいました。

コミュニケーションとライティングのクラスがあり、レベル別で20人以下のクラスが作られます。授業はアメリカらしい発言力が求められるので、積極的に英語で話すように指示されます。わからないところは質問をすれば丁寧にわかるまで教えてくれます。

1から6のレベルに分けられたクラスがあって授業が始まる前にレベル分けのテストを受けた。進め方は先生の説明を聞いて基本的には英語でのグループワークだった。協力して問題を解いたり考えたりすることが多かった。

1クラス20人前後の少人数制で、1日に2コマ授業がありました。

どの授業もディスカッションを中心に進めます。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

人数は10~15人でした。Writing の授業は3:7で日本人が少なかったですが、communication の授業は5:5でした。留学生の出身国は、中国、台湾、韓国、スペイン、コロンビア、サウジアラビア、フランスなど様々でした。

7:3くらいで日本人が多い

コミュニケーション 人数 約20人 日本人 5人、スペイン語、フランス語、サウジアラビア 中国韓国、ライティング 人数 約10人 日本人 3人
スペイン語 フランス語 中国語

クラスは15人前後で日本人が3分の1程。スペイン語が第一言語の方が多かった気がする。他には中国、台湾、韓国、サウジアラビア、ベトナム。

1つのクラス13人くらいで留学生6対日本人7くらいでした。また他の留学生は韓国人や中国人、台湾、サウジアラビア、スペインなど様々な国の人がいました。

クラスの人数はどのクラスも20人以下です。クラスメイトはやはり日本人が多いです。特に中間のレベルは日本人が多いです。留学生の出身国はアジア、ヨーロッパ、中東、世界各国から集まっています。そのため色々な癖の英語を聞き取る練習にもなります。

20人前後のクラスで韓国、中国、サウジアラビア、エクアドル、スペイン、フランス人がいた。

1クラス20人前後でアラブ系アジア系スペイン系の学生がいますが、レベルにもよりますが日本人がほとんどです。

6:4 スペイン、南米、中東

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

日本人以外の人が多く発言していて、他の国の人のほうが積極性がありました。他の国からだとも30、40歳代の人もいましたが、とても仲良くしてくれて楽しかったです。

和気藹々として、楽しかった

グループやペア活動が多い。毎回違うグループになるから、クラス全員と話せるようになる。

日本と違うところは、質問の多さ。日本人以外の方はわからないことがあればすぐ質問。そしてわかるまで質問。

とてもフレンドリーな雰囲気で誰でも仲良くなれる感じがとても好きでした。

積極性が見られていると思う瞬間がたくさんありました。やはり日本人の生徒はシャイだと言われていました。グループワークが必ずあるのですが、そこではやはり文化の違いや年齢、忙しさなどで上手くいかない瞬間もありました。しかし、しっかりと意見を言って上手くやっていく必要があると感じました。

みんな分からないことがあるとその時に先生に質問していた。日本人はしていなかったけど他の方から来ている生徒は積極的に先生に質問していた。雰囲気は日本の授業とそんなに違いはなかったと思う。

携帯を禁止されていてアラームや着信音が鳴るだけで没収されている事もあり、見ていていい気がしませんでした。

みんなで話しながら進めるので賑やかです。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

エコツーリズムについてのトピックを取り上げたとき、環境と旅行を結びつけながらグループディスカッションしたり、それに関するプレゼンテーションをしたりしました。このトピックについての自分の意見を持つこと自体難しく、さらにそれを英語で話すのはとても苦労しましたが、とても良い経験になりました。

エコツーリズム、睡眠について

世界中のお祭り

スピーキングテストの内容で第一言語の違う人達同士で結婚するのはどう思うかというトピック

ワールドカップサッカーがあった年だったのでそれに関係したプレゼンテーションを行ったのがとても印象的です。

自国の文化に関連したトピックでプレゼンをするのが留学ならではのと感じて良い経験になりました。国も違えば文化、宗教、年齢も異なっているので色々な目線を知ることができました。

ヒジャブについて、ファストファッションについて、エコツーリズムについて。

偉人を紹介するプレゼンを行ったのですが時間も少なくて準備も暗記するのも大変でした。

環境について

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

毎日課題が出されるので課題は必ずしていました。課題をしながらその日習った事について復習をしていました。特にエッセイが難しかったので、何度も復習をしました。

宿題をちゃんとやる

復習に時間をかけること。課題は毎日すること。分からなかったら、授業終わりに先生にきく。

とにかく理解できるまで先生に聞くことと、私自身スピーキングが苦手なので他のテスト(特に単語テスト)で点数を取れるように勉強したこと。

毎日授業が終わったらそのまま図書館に行き課題をしっかりと終わらせて次の日のために振り返りや小テスト勉強もできるようにしていました。

当たり前ですが宿題は必ずするようにしていました。先生にもよりますが宿題が予習になっているクラスもあるので疑問点を毎日残さないようにしていました。友達と毎日図書館に籠って、現地の大学生と一緒に質問し合いながら勉強していました。

ずっと集中力を切らさない、分からない単語は印をつける、周りの意見を聞く。

毎日の宿題だけは必ず提出していました。

わからないところを積極的に聞く

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人(0人)	
1人(7人)	アメリカ(テキサス)、ナイジェリア
2人(1人)	アメリカ
3人(1人)	アメリカ

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩(11人)	0-15分(11人)	大学内のカフェテリア(11人)

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
机、椅子、クローゼット、収納棚、シーツや枕は準備してくれていました	掛け布団が1枚しかもらえなかったので毛布を買いました。
ベット、シャワー、トイレ、洗面台	風呂用品、髭剃り、歯ブラシ、掃除用具
ベット、寝具、机	毛布、トイレトペーパー、掃除用具
ベッド 机 棚 小さいクローゼット 布団	日用品類
ベット、布団、机、クローゼット	スタンドライト、毛布、ハンガー
ベット、デスク、チェア、リネン類。部屋によってはルームメイトが色々な物品を用意している人もいました。私も実際に日用品などはルームメイトが全て支給してくれました。	デスクライト、タオル類、シャンプー・リンス、ハンガーなど。
クローゼット、机、ベット、洗面台、4人で共有のトイレとお風呂。	ドライヤー、ハンガー、洗面用具、コップ、洗剤、ヘアアイロン、薬系。
寝具一式と机	生活に必要な物全て。
ベット、机、椅子	ポット、布団、まくら

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

毎日シャワーを浴びて、ドライヤーで髪の毛を乾かすのは日本人くらいしかないこと

海外の人はあまり電気をつけたがらないこと

ルームメイトとルールを決めて同じ部屋で生活すること。

ルームメイトがいるのでルームメイトが寝ていたらシャワーに入りにくかったり、朝電気を付けにくかったりした。

日本と違ってルームメイトは電気を消したまま日常生活を送れること、たくさん部屋に友達を連れてくること、また毎日シャワーに入らないこと

毎日シャワーだけの生活はなかなか大変だと思います。

毎日お風呂に入らなかったり、ドライヤーをしなくていいこと。トイレの流す音が大きいこと。シャワーが取り外しできないこと。

トイレトペーパーを共有して使用していたのですが、私とルームメイトしか補充していなかったので話し合えばよかったなとも思います。

風呂場に着替える場所がなかったこと

寮生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ゴミがいっぱいになったら捨てに行く、風呂トイレを使ったあとはきれいにする、などお互いが過ごしやすいようにする
布団が体に合わないと思ったら自分で敷布団みたいなものを用意したら良い。寮の枕が合わなかったから自分に合うものを持っていか、現地で買う方がよい。
ルームメイトと細かいルールを決めること。
エアコンの調節ができないので早めに毛布を買うこと
必ず最初は相手との生活リズムや嫌なことなどを相手に伝えとくことが必要だと思います。
最初のうちにルームメイトとルールを決めておくのが良いと思います。私は最初に生活リズムや共有物の範囲などを話し合っ決めてました。
快適に過ごすことに重きを置くのじゃなくてあくまで生活するための部屋だから寝て起きて準備するための部屋ぐらいに軽く捉えていたら気持ちは楽かもしれません。
入居後すぐにルームメイトとルールを決めるのですがその時によく話し合っておくといいと思います。
ルームメイトとコミュニケーションを取る

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい (9 人)	日本から SIM カードを持参(8 人)	ワイヤレスで可能 (9 人)	はい(0 人)
いいえ (0 人)	日本の携帯をそのまま持参(1 人)	LAN ケーブルで可能(0 人)	

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
毎日のように何かイベントがあったので参加していました。	学内にジムがあったのでよく利用しました。
現地の学生が音楽を披露するイベントやアメフトの観戦に行った。	薬局
ボランティア、サークル活動(日本語クラブが複数あったり、アジアのコミュニティもたくさんある。)	図書館 (24 時間開いている)
平日は基本図書館に籠りっぱなしでたまにジムに行く程度	図書館とジム
最初のころは現地の友達をたくさん作りたいために、言語交換のイベントや日本に興味があるアメリカ人が集まっている日本サークルの体験などに行き、友達を広げました。	学内にあるスターバックスやコンビニ、学校の近くにある薬局もよく使っていました。
日本文化が好きの人が集まっているクラブに入ってイベントに参加していました。他にも日本に関するイベントに参加したり、言語交流のイベントにも定期的に参加して人脈を広げました。	基本的に図書館にいたことが多かったのですが、近くのレストランに外出することもよくありました。タクシーを使って街まで出て買い物をすることもありました。
教えてもらったイベントに行ったりしていましたが、サークルやクラブには参加していません。	毎日夜は夜中まで図書館で課題したり勉強していました。図書館や本館はよく使いました。
IELI で一学期に一回校外に連れて行ってくれたり、ボランティア活動などを行っていました。	学校の近くにあるカフェや図書館で宿題や勉強をしていました。車で 3.40 分の距離にアジアスーパーの Hmart があって、日本食が恋しくなったらよく行っていました。
街に出かけたり現地学生と出かけた。	Ulta

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

自分が持っている文法書などで復習していました。

英語字幕で YouTube の動画を見る。文法のレベルを日本のどこの大学も受かるレベルまで勉強した。そうすることで授業を余裕をもって受けられた。

オンライン英会話で日常会話ができるように準備した。

リスニングの練習

留学前はできるだけ英会話の YOUTUDE や映画を見ていきました。また文法の復習もしました。

クラス分けテストがあったので TOEFL のテキストを使って勉強していました。文法も一通り復習していました。そのほかにも、YouTube で海外留学している人の動画を見たり、海外大学生のチャンネルを見ていました。

好きな外国の映画を見る。

現地学生と前もって SNS から交流

留学前にしておけばよかったと思う準備

もっとスピーキングの練習をしておけば良かったと思いました。

リスニングをもっと早めから勉強し始めたら良かった。

他の国の文化や宗教を学ぶこと。

語彙数を増やすこと

もっと良く使えるフレーズを知っておくべきだった

留学が始まれば嫌でも英語を使うので勝手に英語力は伸びますが、日常的に使う英会話を知っておくと最初からスムーズな生活ができたと思います。また、日本のことについてもっと知っておくべきでした。日本人より日本のことを知っている人たちがたくさんいます。

行く先の周辺の地図を見ておく。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

ハンガー、売っていますが本数が多いので持っていくと楽です。生理用品は日本に比べ値段も高く質も良く無いので持っていくといいかもしれません。薬類は必須だと思います。

マウンテンジャケット。テキサスが寒暖差の激しいところだったから朝と夜はマウンテンジャケットを着て寒さを凌いで昼間は薄着で行動できたので快適だった。

インスタントの味噌汁、文房具

化粧品、スキンケア系、薬

薬、お米、みそ汁、

日本の使い慣れた薬、日本食(お菓子を含む)

ハンガー、大きい袋、スリッパ。

日本食、お茶、パスローブ

日本から持っていく必要のなかったもの

マスク

変圧器、大体の電化製品は電圧を勝手に最適化してくれていて普通に使えた。

日用品
電卓
調理器具
マスク(帰国の分があれば現地では必要ありませんでした)
鏡、ジップロック。
マスクと洗剤類 大学のすぐ近くに CVS があるのでそこに行けば何でもあります。

日本から持参すればよかったと思ったもの
特にありませんでした。
上限最大まで引き上げたカード。何回か止まったから (上限 20 万円)
日本食、シャンプーリンス
たくさんの日本食
少し多めに酔い止めを持って行くと良いと思います。アメリカの道路は日本ほど整えられていません。
足りないものは全部買えたのであまり持参すればよかったと感じたものは無かったです。
ハンガー

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレジットカード1枚とプリペイドカード1枚持っていきました。何かの不具合でクレジットカードが使えなかったり、あるいはプリペイドカードが使えなかったりしたのでそれぞれ1枚は持っておくと良いです。現金はほぼ使いませんでした。	クレジットカード上限80万、プリペイドカード100万、現金5万円
クレカ2枚とプリペイドカード、	メインのクレジットカード上限20万円1枚、緊急用のクレジットカード上限100万円、プリペイドカードに1000ドル入金した状態で持っていった。
クレジットカード、デビットカード、現金	デビットカード150万円(家賃、食費含む)現金10万、クレジットカード
デビットカード1枚、現金	デビット上限100万、現金10万
クレジットカード、キャンパスパスポートを作成しました。	クレジットカード上限30万
クレジットカード2つと現金	クレジットカードは上限30万、引き出し月3回まで&上限10万。現金日本円で約10万。
クレジットカード、キャッシュパスポート、現金です。	現金は8万円、クレジットカードは30万円くらい。
現金 デビットカード キャッシュパスポート	現金は500ドル約7万円、キャッシュパスポートは学費や寮費を含めて7500ドル約100万円、デビットカードは足りなくなった入金してもらいました。
クレジットカード、現金	覚えていない

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
住居費約70万円	テキスト代は分かりません。
80万円くらい(円安で元々想定していた分より高くなった)	授業料に含まれていた。通学は徒歩10分くらい

住居費 食費	0
現地で 60 万、保険金 9 万を払いました。	テキスト代、通学費はかかってないです
円安が進んだので想定 1.5 倍払ったと思います。80 万くらい。	テキスト代は含まれているので払う必要ありませんでした。通学費も徒歩なので必要ありませんでした。
住居費が 85 万円くらいで、食費、生活費は月 10 万円くらい。保険で 10 万円くらい。	通学費は無料で、テキスト費は分かりません。
寮費と学費 5300 ドル程でした。	テキスト代はかかりませんでした。
食費 20 万	覚えていない

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など

ロサンゼルスへ 4 日間旅行に行きました。全部で約 20 万かかり、航空券や宿泊先は自分でネットで予約しました。
ロサンゼルスに行った。ホテルはブッキングドットコムを使って、飛行機はエクスペディアを使った。この二つが使いやすい。21 未満じゃないと泊まれないホテルもあるので行く予定のある 21 未満の人は気をつけて探した方がいい。
カリフォルニア旅行、オーランド旅行
カリフォルニアとニューヨーク。どちらも 2 泊 3 日で 10 万円前後。手配は全て自分たちでネット。
タームとタームの休みにフロリダで Disney world に行き、またニューヨーク、サンアントニオ、ヒューストンに行きました。また自分自身で飛行を取り、行きました。
タームとタームの間にフロリダ旅行(ディズニー・ケネディー宇宙センター)に行きました。トータル 10 万円くらいだったと思います。チケットやホテルは友達と一緒にネットで取りました。サンクスギビングは現地で仲良くなった友達の家族とオースティンまで旅行に行きました。友達家族が色々手配してくれたので 3 万円くらいでした。その他にも現地の友達の家にも招いてもらいました。
タームの休みにカリフォルニアとロサンゼルスに行きました。3 泊 4 日で行って総額 20 万円くらいだと思います。ネットで調べて予約したら移動手段は全部 Uber でした。
私は現地でできた友達とファイナルイグザム後にオクラホマに旅行に行きました。
カリフォルニアディズニーランド、エクスペディアから手配

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

旅行に 20 万、その他買い物や交通費などに 20 万
90 万円くらい。
60 万程度
旅行や交際費、食費
お土産、旅行などでトータル 30~40 万くらいは使ったかと思います。
月々全部込みで約 20 万円使っていました。
旅行や買い物(お土産など)を含めて 3000 ドル程だったと思います。
30 万以上

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

リスニング力がより身についたと思います。以前より相手が何を言っているのかわかるようになりました。エッセイの練習も何度もしたのでライティングカ

も向上したと思います。
スピーキング能力と英語でのプレゼンの力がついた。また現地で日常生活を送れるまでは英語力が上がった。
リスニング力は4ヶ月で上がったと実感できた。毎日授業や授業外でネイティブの友達や他の国の友達と英語で話すことで、スピーキング力も日常会話ができるようになったと感じている。
リスニングとスピーキングが向上したと思う
語学力は自分が思っているより上がったと思っています。初対面の人でも話しかけられるぐらいはできるようになったと考えます。
怖がらずに英語でコミュニケーションを取れるようになったのは成長だと思っています。リスニング力や積極的に発言する力を養えたかと思っています。
行く前と帰ってきた後は比べ物にならないくらい成長できたと思う。特にリスニング力がずば抜けて成長できた。自分でもびっくりするくらい聞き取れるようになった。コミュニケーション能力は自分からもっと話せるようになったから伸びたと思う。
コミュニケーション能力が自分にあった事に驚きました。
よくできていたと思う

留学前の目標とその達成度
留学前は少しでも英語力を向上できたなら良いなと思っていましたが、自分ではリスニング力が一番伸びたかなと感じました。スピーキング力をもっと付けたいと思ったのですが、毎日英語に触れていたおかげで少しは上達したかなと思います。
日常会話はできるようになりたいと思って行って、それは達成できた。
英語でコミュニケーションできるようになると言う目標に対して、どのような場面でも恐れずコミュニケーションできるようになったので達成できたと感じる。
聞き取れることが目標だったので達成することができた。
留学前の目標は自分の納得するような留学生活を送ることで私は自分が思っよりも多くのことを学べました。
世界各国の友達を作るという目標が達成できました。2タームともクラスを無事にパスすることができ、ファイナルでは満点を取ることもできたのでよかったです。
コミュニケーション能力をもっと向上させたいのと聞き取れるようになりたいと思っていた。だから達成度は95%、完璧なわけではないしこれからも頑張りたいから100%ではない。
現地でアメリカ人の友人を作るのが目標だったので達成する事が出来ました。
英語力の向上、会話力がとても上がった

留学を通しての成長ポイント
努力して諦めずに頑張る力を身につける事ができました。毎日多くの課題が出されてそれをこなす事がとても大変でした。授業が終わるとすぐに図書館に向かい、課題をしていました。難しく何度も諦めそうになりましたが、自分のためにと思い、毎日一生懸命頑張りました。
1人で生きて行く力がついた。また新天地でどう振る舞うのが正解か理解できた。
たくさんの友達を作ることができたこと、ボランティアや学校のイベントに積極的に参加したことから、挑戦する力が身についたと思います。友達ゼロの状態から、語学プログラムで出会ったたくさんの他の国の留学生と毎日会話したり、図書館で出会ったアメリカ人の友達と毎日生活することで、コミュニケーション力が上がったと思います。毎日何か新しい出会いや挑戦をしようと決めて、充実した留学生活、環境作りができたと思います。
生きていく力がついたと思う。
英語力、行動力、積極性、異文化理解
色々なバックグラウンドを持った人たちと上手く関わる力が身につきました。また、学習面ではわからないところや曖昧な点を積極的に発言して解決する力もついたと思います。臨機応変に対応する力や非常事態が起こった際の対応方法などの力が身につきました。
自己肯定感が身についた。英語の語学力が身につく自分に自信が持てるようになったのと、現地の人はみんな優しくて常に見た目のことを褒めてくれたり自信を持つように言ってくれたから今までの自分じゃ考えられないくらいの自己肯定感が身についた。

考えている事がスッと出てくる様になったのでスピーキング力が向上したとは感じました。

自立して行動する力

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前は少しでも英語力が身につけば良いと思っていましたが、授業が始まると、他の国の人のスピーキング力やコミュニケーション力のすごさに驚き、もっと英語の勉強に向き合わなければならないと思いました。授業ではグループディスカッションの時間を大切にしたり、リスニングの練習もしました。今後も英語力の向上を目指したいと思います。

スペイン人と仲良くなってスペイン語も学びたくなった。留学に行くと色々な国の人と出会えるから英語以外の言語に対しても興味が湧くとおもう。

留学前は、授業以外で、英語を使ったりネイティブの友達がいなかったことで、自分の英語が通用するのか不安で、自信がありませんでした。しかし、留学中、ネイティブの友達と英語で話すことに不安はなく、徐々に自分の英語に自信を持つことができました。自分が伝えたことを英語で伝えることができ、理解してもらえることで自信に変わりました。留学を通して、自分の英語の弱みもわかりました。話している中で、文法のミス、語彙力の少なさも感じました。それらを、日本でも勉強を続けて成長させたいと感じました。留学生と積極的に話すなど、日本でどのように英語力を伸ばすか考えて、向上させたいと思いました。

前は単語を覚える程度だったが、現地で思ったよりも話せないことが多く、もっと勉強しようと思えるようになった。

留学前は英語をもっと話せるようになりたいと思っていました。留学中は英語力はもちろん、自分の殻を破るように自分から行動し、なんでも吸収しようとしていました。留学後は留学によってついたこの力を継続できるように毎日一回は英語に触れるようにしようと思っています。

留学前は就職活動に励んでいたで慌ただしく気付いたら留学が始まっていたような状態でした。留学中は年齢、国籍関係なく多くの友人に刺激を受けたり教えてもらったりしたので、向上心を高く持ち続けることができました。留学後は英語力を落とさないように英語を耳にする時間をできる限り確保するようにしています。またアメリカの友人とも電話をしています。

苦手意識がなくなった、留学前は勉強を始める前にとりあえず嫌だなとかこれ絶対解けないんだろうとかマイナス思考から入っていたけど留学して語学力を身につけることができたらそれがなくなった。勉強を始める前も英語が楽しいって気持ちで始められるようになった。

良い意味で変化なし。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

学校側の不手際でジムが使えなかった時に使えるように交渉した時が1番力を発揮できた。自分が本気で伝えたいことがある時は英語の力は伸びると思った。逆にいうと本気で伝えたいと思わないと英語のスピーキングの部分は伸びないと思った。

旅行中、旅行中は友達と2人だけでいつもみたいに助けてくれる先生や友達がいなくて常に頑張った。何かあったときは自分たちの責任だし怖かったけど協力して100%で頑張りきったと思う。

スピーキングテスト

自分から現地学生と交流をしたとき

留学最終日の帰国の日です。空港のチェックカウンターのシステムトラブルで予定通り帰国できませんでした。その時、関西外大、留学先大学、旅行会社、空港会社と連絡をとり、英語と日本語両方でやりとりを通訳をしながらして、現状を伝える役目を果たしました。問題に対応する力、コミュニケーション力など留学で学んだことを100%発揮できたと思います。

最初、自分自身英語力に自信がなかった時自分からは話すことができなかつたけれど、自分から話しかけたイベントに1人で参加したりできたこと

コミュニケーションの授業でのプレゼンは特に力を入れて取り組みました。準備できる期間は非常に短いですが、自分の意見や考えを自分とは違ったバックグラウンドを持った人たちに伝えるチャンスなので、最後の最後まで調節し成功させました。

プレゼンテーションをするときです。クラスの皆の前で英語でしゃべるのは少し緊張しましたが、事前に話す内容を整理し、目線や話すスピードなど話し方に注意しながら発表しました。自分でパワポを作って英語で2、3分話すことが今まで無かったので、緊張しましたが良い経験になりました。

毎日の宿題とオンラインで提出するリードセオリーという課題を沢山こなす事

留学先大学の良かった点

綺麗だった。ジムがタダだった。授業もちゃんとレベル別に分けられていて程よい内容だった。

生活する環境としてよく自然豊かで勉強に対しての意識が高い人が多いところだったのでとてもいい刺激を毎日受けていました。

テキサスで唯一日本語専攻のある大学だったので、日本の興味があるという学生がたくさんいてたくさんの友達を作ることができました。また教えてくださる先生方も外大で教鞭をとったことがある先生ばかりなので楽しかったです。

留学先大学は、とても規模が大きくてたくさんの学生と出会うことができました。留学生のサポートも手厚かったと思います。

先生が優しく、フレンドリーでした。キャンパスも小さすぎず、大きすぎずで良かったと思います。

さまざまな国籍の学生がいて良かった

お店がたくさんある、みんな優しい、24時間図書館が開いている、ご飯が美味しい、緑が多くて空気が綺麗。

アクセスが良い。寮のご飯が美味しかった。